

佐賀県医療センター好生館 汎用超音波画像診断装置 調達業務仕様書

項目番号		要件
汎用超音波画像診断装置		
1		汎用超音波画像診断装置本体
1	1	汎用超音波画像診断装置本体（2式）は、以下の仕様を満たすこと。
1	1	1 奥行き900mm、幅600mm以下であること。
1	1	2 ソフトウェアビームフォーミング技術を採用していること。
1	1	3 データベースは本体に保存したまま画像だけを外部メディアに移動でき、メディアが挿入（または接続）されている状態で患者を選択するとインストール不要で検査を表示できること。
1	1	4 任意方向でのMモード作成がリアルタイム及び保存画像からも可能であること。
1	1	5 カラー Doppler 法によらず血流をグレースケールでリアルタイム表示できること。
1	1	6 ボリュームデータから右心室の容積、駆出率、TAPSEを算出できること。
1	1	7 ボリュームデータから左心房の容積、駆出率、ストレインを算出できること。
1	1	8 同時2断面、同時3断面表示が可能であること。
1	1	9 ドプラモードにおいて、心臓の血液の流速、圧較差、時間速度積分値、心筋の移動速度などを自動計測できること。
1	1	10 ドプラ波形計測において‘measure’を押すだけでその波形の計測項目部位が自動で選択される機能を有すること。
1	1	11 心尖3断面それぞれの断面上で自動指定または3点指定することにより自動トラッキングし心筋収縮の解析結果をブルズアイ表示が可能であること。
1	1	12 項目1-1-11は自動ROI設定がされ、Auto EFも同時計算されること。また、他社DICOM画像からの解析が可能であること。
1	1	13 右心室の縦方向グローバルストレイン、自由壁ストレイン、セグメンタルストレインの定量データを算出できること。
1	1	14 左心房の縦方向のグローバルストレインの定量的データを算出できること。また、LAボリュームと心腔のEmptying Rateも算出可能であること。
1	1	15 2DモードにおいてPLAX画像から自動で中隔厚、左室内腔、左室後壁厚を測定し容量、駆出率を算出できること。
1	1	16 既存のサーバーや電子カルテシステム等とMWM、DICOM Storage、DICOM SR連携すること。

佐賀県医療センター好生館 汎用超音波画像診断装置 調達業務仕様書

項目番号			要 件
2			プローブ
2	1		心臓用3次元電子セクタ（2式）は、以下の仕様を満たすこと。
2	1	1	周波数帯域は、1 - 6 MHz以上であること。
2	1	2	視野角は90° 以上であること。
2	2		心臓用電子セクタ（2式）は、以下の仕様を満たすこと。
2	2	1	周波数帯域は、1 - 5 MHz以上であること。
2	2	2	視野角は120° 以上であること。
2	3		血管用リニア（2式）は、以下の仕様を満たすこと。
2	3	1	周波数帯域は、2 - 10 MHz以上 であること。
2	3	2	視野幅45mm以上であること。
2	4		高周波血管用リニア（1式）は、以下の仕様を満たすこと。
2	4	1	周波数帯域は、4 - 12 MHz以上であること。
2	4	2	視野幅39mm以上であること。
2	5		腹部用電子コンベックス（1式）は、以下の仕様を満たすこと。
2	5	1	周波数帯域は、1 - 6 MHz以上であること。
2	5	2	視野角は70° 以上であること。
2	6		マイクロ電子コンベックス（1式）は、以下の仕様を満たすこと。
2	6	1	周波数帯域は、3 - 10 MHz以上であること。
2	6	2	視野角は95° 以上であること。
3			記録機器
3	1		白黒プリンター（2式）は、以下の仕様を満たすこと。
3	1	1	印刷方式は感熱記録方式であること。
3	1	2	階調は256階調以上であること。
3	1	3	本体パネルから操作可能であること。

佐賀県医療センター好生館 汎用超音波画像診断装置 調達業務仕様書

項目番号			要 件
4			超音波画像解析装置
4	1		超音波画像解析装置（1式）は、以下の仕様を満たすこと。
4	1	1	PC本体のメモリは4GB以上、ハードディスクドライブは300GB以上で、20インチ以上のモニタを有すること。
4	1	2	項目1の汎用超音波画像診断装置本体とデータ互換性を有し、ポストプロセス機能とデータアーカイブ機能を有すること。
4	1	3	超音波診断装置最大4台までのRemote Archiveとして機能できること。
4	1	4	心尖3断面それぞれの断面上で、自動指定または3点指定することにより自動トラッキングし、心筋収縮の解析結果をブルズアイ表示が可能であること。
4	1	5	右心室の縦方向グローバルストレイン、自由壁ストレイン、セグメンタルストレインの定量データを算出できること。
4	1	6	左心房の縦方向のグローバルストレインの定量的データを算出できること。また、LAボリュームと心腔のEmptying Rateも算出可能であること。
4	1	7	ボリュームデータから左心室容積、駆出率を自動計測できること。
4	1	8	ボリュームデータから右心室の容積、駆出率、TAPSEを算出できること。
4	1	9	ボリュームデータから左心房の容積、駆出率、ストレインを算出できること。
4	1	10	既存のサーバー等とDICOM Storage、DICOM SR連携すること。
5			ネットワーク接続及び付属品
5	1		ネットワーク接続及び付属品については、以下の要件を満たすこと。
5	1	1	項目1の汎用超音波画像診断装置本体について、当館検査室で運用している「生理検査システム」及び「生理検査システムと接続されたパソコン」とLANを用いたソケット通信（Storage・MWM・SR）により連携すること。
5	1	2	項目5-1-1で示した「生理検査システム」は、フクダ電子株式会社製「Hi-MEDiON」であることを明示する。
5	1	3	検査室内集中モニターに装置の画面を表示できる器具は今回の調達範囲に含むものとする。
5	1	4	項目5に挙げた連携接続の費用については、今回の調達範囲に含むものとする。
5	1	5	項目5に必要な台数分のバーコードリーダー及びゲルウォーマーを含むものとする。

佐賀県医療センター好生館 汎用超音波画像診断装置 調達業務仕様書

項目番号			要 件
6			その他
6	1		令和6年3月31日までに、本仕様書に掲げる装置について、搬入・設置・据付・調整等を確実に完了し、安定した稼働ができるようにすること。
6	2		装置の設置調整費用は、今回の調達範囲に含むこと。（一次側設備[電気・空調・給排水等]）の費用は含まない）
6	3		本仕様を満たし提案する機器に関しては、入札時点で『医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律』（薬機法）に定められている製造・販売の承認を受けていること。
6	4		納入前に、納入先担当者と納入スケジュールを確認し、合意の得られた日程で作業を進めること。また、計画書類を提出する等をし、情報の齟齬が無いように努めること。
6	5		装置の設置調整にあたっては、当館スタッフとの協議の上、その指示によること。また、搬入の際には納入業者が立ち会うこととし、当館に損傷を与えないように注意を払うように努め、必要がある場合、搬入経路に養生等を施すこと。
6	6		当館の建物及び設備等に損傷を与えた場合、納入業者の責任において現状復旧すること。
6	7		機器設置にあたって、使用許可等関係行政機関への申請が必要な場合は、届出書類の作成のための資料等の提供を行うこと。
6	8		本調達に関する契約の締結後、本仕様書に掲げる装置のバージョンアップ等があった場合は、契約額を変更することなく、最新のバージョンに修正し契約期間内に確実に納品すること。
6	9		装置やシステムの納入から起算して1年間は、それらの修理及び保守について無償で行うこと。
6	10		落札業者及びメーカーにおいて、各種障害が発生したときに早急な復旧を可能にするサービス体制を構築しており、当館に対してその証明が可能であること。
6	11		装置やシステムの故障、不具合に対して、夜間及び土日祝日、年末年始においても修理などの対応、連絡体制が整備されていること。
6	12		装置やシステムに関して当館からの依頼がある場合、30分～1時間以内に担当者が到着し、対応する体制が整備されていること。
6	13		操作マニュアルは、日本語版を当館が必要とする部数提供すること。
6	14		納入後1年間に行った調整及び修理等の全ての作業については、当館担当者に報告すること。
6	15		納入期限までに、当館の指示や指定する条件に基づき、当館職員の立会のもとで動作確認を行うこと。
6	16		取扱説明書に関する教育訓練は、当館の担当技士2名以上に対し当館が指定する日時・場所で行うこと。
6	17		納入後1年間は、必要に応じ、電話・現場立会いにより教育訓練を実施することとし、その経費については無償とすること。